



© JFA / PR



NADESHIKO JAPAN

VOL.46 2023.1.31

普及コーディネーター取り組み事例紹介①

千葉県

寺島 芳人さん

【中学校年代への取り組みについて】

毎年度末に（回答頂けた範囲で）県内6年生の進路調査をさせて頂いていますが、20年度は72%の選手が中学年代でサッカーを継続すると答えたのに対し、21年度は68%で微減でした。競技力の力量で継続が左右されると多くのU12指導者の方々が仰っていました。競技力がサッカーへの熱量や自信という競技継続のファクターにつながっていると思います。千葉県U12女子の試合では選手証所属チームの枠に拘らず、合同・混成チームでの参加を可能にしています。女子サッカー普及の観点から始めた試みですが、女子選手同士が切磋琢磨し、育成や強化の場にもなっています。一人でも多くの選手が「私も出来る！」と言う自信、「サッカーが楽しい！」と言う熱量を得て、中学年代につながって欲しいと思っています。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

この号が発行されるタイミングでは、第1回目のガールズゲーム関東を終えている頃でしょうか。第1回目でもありますし、女子の関東大会を4種主管で行うのは初めてとなりますが、4種執行部を中心に4種委員や競技部員の方々と、1/28（土）～29（日）の開催に向けて準備を進めています。

多くの方に携わって頂く中で、女子サッカーに触れ、益々の理解を頂ければと思っています。私も大会事務局として関わっていますが、更衣室の準備や女性係員の配置など細かな準備が必要だと感じています。また、今大会の当日運営には関東各都県の4種女子担当の方々にもお手伝いを頂きます。関東のファミリーで2回目3回目と盛り上げて行ければと思います。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

今年度の女子サッカーデーは、昨年度コロナで中止になってしまいましたが、4種からU15へつなげるイベントを開催予定です。4種5年生以下の選手たちとU15チームの選手達との交流の場とする予定です。異種交流を通じて4種年代の女子選手やその保護者に向けて中学生年代の情報のインプット、進路選択やサッカー継続のきっかけの機会になればと思います。現在、女子委員会U15部会の方々を中心に準備を進めて頂いていますが、このような機会が女子サッカーデーに限らず何度も行える様に協力体制が築ければと思います。

普及コーディネーター取り組み事例紹介②

東京都

石森 由紀さん

【中学校年代への取り組みについて】

東京都では2020年より、女子サッカーチーム情報紹介プロジェクト～サッカーファミリーを絶やさない作戦～として中学生以上の選手を募集しているチームの情報を集め、まとめて、情報難民と思われる女子選手や保護者に、毎年11月に開催される三菱養和レディース&ガールズサッカー大会で届けています。

また、中学校の部活にいる女子選手を集め、練習し、2022年10月15日(土)～16日(日)に、高円宮記念JFA夢フィールドで開催された中学校女子サッカー部フェスティバルに参加しました。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

東京都少年サッカー連盟には、男女混成チーム地域別15のブロックに加え、少女選手のみで構成される約40チームが所属する第16ブロックが存在しております。ガールズゲームに推薦する4チームを、この16ブロックのチームだけで戦った全日本U12サッカー選手権東京大会第16ブロック予選の上位4チームとして、関東各県のチームとの交流ができることを願っておりましたが、昨年度の第1回ガールズゲームは、惜しくも直前で中止となってしまいました。

ガールズゲームは多くの選手・チームが良い経験ができる場であるので、今年度のガールズゲームの様子を踏まえて、推薦チームの決定方法については、今後、継続的に検討していきたいと考えています。



【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

昨年度はコロナ禍の影響で開催できませんでしたが、今年度は2月11日（土）・2月12日（日）に東京都レディースシニア（マザーズ）サッカー大会を開催予定です。本大会はサッカー少年のサポーターであるお母様方にサッカーに興味を深め、技術向上の機会を提供し、心身の健全な発達に寄与しサッカーの普及を図り理解を深めることを目的として開催17回目になります。

女子サッカーデーの取り組みとして、この大会の審判員はすべて女性で行い、女性審判員の研修の場となる活動を実施します。出場者の皆さんに、審判員にも興味を持つきっかけとなることを期待しています。



【今後の目標】

昨年、東京都少年連盟主催で「登録拡大推進事業」として開催した「なでしこひろば」では「キッズリーダー講習会」をコラボレーション開催し、「新規選手」と「新規指導者」へのアプローチに成功しました。こういった成功を共有し、各種別や地域ごとに「なでしこひろば」などを活用して、東京都全体で女子サッカーファミリーの増加・女子サッカーの普及に向かって動いていけるようになることが目標です。

普及コーディネーター取り組み事例紹介③

神奈川県

桑原 由恵さん

<タイトル>- 誰でも、どこでも、いつでも - サッカーに触れることができる神奈川

【中学校年代への取り組みについて】

神奈川FAでは、3種中学校サッカー一部所属の女子選手を対象にした練習会を定期的に行っています。

9/10(土)に横須賀リーフスタジアムで行われた練習会では、68名の女子選手が参加してくれました。

中体連の先生方が、計画・打ち合わせ・トレーニングシミュレーション、そしてピッチマネージャーとして声掛けをし、選手たちは楽しく、全力でサッカーに打ち込んでいました。今後は3種中学校サッカー一部所属の女子選手がチームとして、U-15部会の大会・リーグに参加するなど検討されています。種別で分けるのではなく、中学年代の女子として試合をする環境を整えて、より多くの選手が高校年代でもサッカーを続ける環境を作っていきたいと思います。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

2022年度 神奈川県少女サッカー選手権では、19チームがトーナメント戦を行い試合をしました。勝ち進むにつれてとてもレベルが高いプレーが多かったです。他の事業では、男子チームで活動している選手の合同チームや、地域選抜チーム、そして少女チームを含めた大会では県内35チームぐらいで実施しています。これからより低学年も含めたU-12年代で環境を良くしていくために、まずはチーム指導者・関係者のお話を聞き、話をすることをしていきたいです。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

2022年度のJFA女子サッカーデーは、なでしこリーグ1部に所属している日体大SMG横浜の開幕戦の前座で“First Touch スタandard版”を開催する予定です。たくさんの女の子たちにサッカーに触れてもらい、その後になでしこリーグの試合を見てもらいます。JFAでも定めている育成のコンセプトは、三位一体+育成の総合的アプローチです。神奈川は、地域としてその全てにしっかりアプローチができる環境があります。女子サッカーデーを入り口として多くの女子選手が誕生し、育成コンセプトに繋がるように多くの人の力を結集できればと思います。

【今後の目標】

—誰でも、どこでも、いつでも サッカーに触れることができる仕組みづくりを現在ステップ1として整えています。ステップ2は、サッカーをやりたい女の子たちをチームを繋げることです。ステップ2を見据えた、ステップ1の仕組みづくりを考えていくのが、2023年度の目標です。

また、なでしこvisionでは女子の登録選手を2030年までに20万人するという目標設定があります。神奈川IFAでも現状の登録者数から人数・伸び率を数値化しFA内で共有します。みんなで選手を増やす環境を作る、みんなで女子サッカーを支える、みんなで取り組む目標としてFA内で協力して、女子サッカーをもっともっと魅力のあるものにしていきたいと考えています。



普及コーディネーター取り組み事例紹介④

山梨県

清水 たけみさん

【中学校年代への取り組みについて】

本県のU12女子のリーグ戦（なでしこリーグ）を立ち上げてからまだ4年目ですが、少しずつ定着化し現在6チーム（単独女子チーム2、混合チーム4）で対戦しています。

U15年代のチームは、昨年新チームが一つ立ち上がったものの、選手数減のため今までそれぞれ活動していた2チームが一つに統合され、結果チーム数は変わらず3チームで受け皿は少なく、さらに選手数もなかなか増えない現状です。そこで、昨年度から取り組んでいる「なでしこカップ」の運営をU15チームにも協力していただきながら選手同士の交流を図ることを目的とし、4種及び女子委員会の合同事業として開催しています。



【ガールズゲームへの取り組みについて】

本県のU12女子チームの構成上、男子と一緒にプレーしている選手がほとんどなので、指導者自身「ガールズゲーム」の認識がやや薄いと思われます。そのため、予選会を設けることも日程がなかなか取れなかったり、自チームの大会優先のため選手の負担が大きかったりと難しい状況があります。そんな中、今年度は、手を挙げてくださった2チームが本県から参戦しますが、来年度は予選会を経て出場できるように働きかけていきたいと思います。



【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

本県のここ数年の女子サッカーデーの内容は、U12女子とママさん世代の交流試合や、U15世代を対象にした、ヴァンフォーレ甲府アンバサダーによるフィジカルトレーニングの受講など、様々な内容を計画し実施してきました。今年度は、園児や小学生のサッカー未経験者親子を中心に「レッツダンス！レッツサッカー！」と題し、親子あるいはお友達同士で楽しく踊って楽しくサッカーをします。今回JFAで推奨している未経験者、親子参加は、本県で長く取り組んできた活動なので、これまでの経験を活かしながら取り組みたいと思います。



【今後の目標】

本県にとって、女子の普及はどのカテゴリーにも言えることなので、底辺となるU6世代の普及およびU15世代への引き渡し、また、ママさん世代の事業・活動の低迷改善など、課題解決に向けて各種別との連携を図っていきたいと思っています。



2023年シーズン なでしこリーグ



本年もよろしく
お願い申し上げます

□2023プレナスなでしこリーグ1部

■大会開催期間
全22節
3月18日(土)~10月9日(月祝)

■チーム編成(12チーム)
バニーズ群馬FCホワイトスター
オルカ鴨川FC
スフィーダ世田谷FC
日体大SMG横浜
ニッパツ横浜FCシーガルズ
大和シルフィード(昇格)
静岡SSUボニータ(昇格)
朝日インテック・ラブリッジ名古屋
伊賀FCくノ一三重
スペランツァ大阪
ASハリマアルビオン
愛媛FCLレディース

□2023プレナスなでしこリーグ2部

■大会開催期間
全18節
4月1日(土)~10月15日(日)

■チーム編成(10チーム)
ノルディーア北海道
つくばFCLレディース
FCふじざくら山梨(新規参入)
JFAアカデミー福島
ヴィアティン三重レディース
岡山湯郷Belle
吉備国際大学Charme岡山高梁
ディアヴォロツソ広島
福岡J・アンクラス
ヴィアマテラス宮崎(新規参入)

なでしこリーグ1部(12チーム)

なでしこリーグ2部(10チーム)

[北海道]
ノルディーア北海道

[群馬]
バニーズ群馬FCホワイトスター

[愛知]
朝日インテック・ラブブリッジ名古屋

[大阪]
スペランツァ大阪

[兵庫]
ASハリマアルビオン

[岡山]
岡山湯郷Belle
吉備国際大学Charme岡山高梁

[広島]
ディアヴォロツソ広島

[福岡]
福岡J・アンクラス

[愛媛]
愛媛FCレディース

[宮崎]
ヴィアマテラス宮崎

[茨城]
つくばFCレディース

[東京]
スフィーダ世田谷FC

[千葉]
オルカ鴨川FC

[神奈川]
日体大SMG横浜
ニッパツ横浜FCシーガルズ
大和シルフィード

[山梨]
FCふじざくら山梨

[静岡]
静岡SSUポニータ
JFAアカデミー福島

[三重]
伊賀FCくノ一三重
ヴィアティン三重レディース



なでしこリーグHP コラム連載更新！



コラムのリンク先は[こちら](#)

伝統を引き継ぎ「なでしこ」の名に込められた選手の魅力を探ります。
様々な挑戦をしている選手たちにぜひ注目してください。

①⑥小西由利恵 (つくば・FW)

「大学院で物理研究しながらピッチに
‘故郷’で経験した貴重な1年」



①⑦高橋美春 (静岡・GK)

「シーズン途中からキャプテンを引き継
いだ守護神」



【開催の様子をご紹介します】

◆おおつヴィクトリーズサッカークラブ（滋賀県）12月14日（水）

当日は開催時間が19:00~でしたので非常に寒かったのですが子ども達の活気で、スタッフも寒さを忘れて活動しました。

当日の参加者は年中さんから小学6年生までの36名とスタッフを含めると40名を越えるほど活況でした。

年中さんから3年生+高学年でも初心者の方々にはボールを使ったウォームアップから始まり、年中さんから3年生+高学年でも、特に初心者の方々にはボールを使ったウォームアップから始まり、ドリブルやシュート等のドリルを行い、最後はミニゲーム。4年生から6年生もボールを使ったウォームアップに始まりパスゲーム、対人プレイのドリルを行い、最後はミニゲームという感じです。

スタッフコンセプトはサッカーは楽しいものということをお皆に伝えること。そしてリピート性を高めることです。初参加者が増えたのもこの辺りにフォーカスしたからだと思えます。

引き続き普及活動に尽力していきたいと思っています。



◆フライアFC（岡山県）12月17日（土）

3つのカテゴリーに分かれてトレーニングしました。

1、年長～小3+お母さん（当日お姉ちゃん、付き添いの妹やお母さんも参加）

ドリブル中心でトレーニング

2、小4～小5

シュート、2vs2、3vs3の対人練習

3、小6～中3

パス&コントロール、ポゼッションや攻守の切り替え

・約10分全体でアップ

頭と身体を使うコーディネーショントレーニング

・約30分でトレーニング

テンポよく行うため、各カテゴリーにコーチ2人以上入り交代しながら指導対応。

・約45分ゲーム

7分交代で、上記カテゴリーの1、2、3、と交代で繰り返し。

空いた時間は各コーチが空いたスペースでトレーニングを行いました。

12月ですが、尋常じゃないほどの汗をかいてもらいました。

チームの指導者だけではなく、トレセンと一緒に活動しているコーチ、B級ライセンスの同期、ジュニアの他女子チームのコーチなど、たくさんの指導仲間になでしこひろばを支えて頂いております。



◆クーパー・コーチング・サッカースクール 仙台校

(宮城県) 12月28日 (水)



仙台校にて、2年ぶりとなるなでしこひろばが開催されました。たくさんの方からお申込みいただき、当日は活気がありました。

トレーニングでは女性コーチ2名が参加したため、多くの選手と関わる事ができるトレーニング・選手たちもお互いに関わりコミュニケーションが取れるトレーニングを意識して行いました。そのため、まずは人数で集まるゲーム等でアイスブレイクをし、チーム戦でドリブルからシュートの対決等を行いました。

最後には高学年と低学年で分かれてゲームを行いました。



☆当日の様子はホームページにも掲載しています。こちらもごらんください。

クーパー・コーチング・サッカースクール仙台校
なでしこひろば開催レポート

<https://coerver.co.jp/sendai/?p=26042>



【なでしこひろばデータをまとめてみました】

都道府県別認定団体数及び2022年12月開催申請数

都道府県	団体数	開催申請数	都道府県	団体数	開催申請数
1 北海道	17	7	25 滋賀県	8	4
2 青森県	5		26 京都府	8	2
3 岩手県	5	6	27 大阪府	19	6
4 宮城県	11	1	28 兵庫県	11	
5 秋田県	3		29 奈良県	3	
6 山形県	2		30 和歌山県	3	
7 福島県	2		31 鳥取県	8	5
8 茨城県	9	3	32 島根県	1	
9 栃木県	16	3	33 岡山県	11	13
10 群馬県	5		34 広島県	10	
11 埼玉県	38	5	35 山口県	3	
12 千葉県	12		36 香川県	8	
13 東京都	63	11	37 徳島県	5	2
14 神奈川県	25	3	38 愛媛県	4	
15 山梨県	6		39 高知県	2	
16 長野県	12	5	40 福岡県	13	
17 新潟県	7	2	41 佐賀県	6	3
18 富山県	4	1	42 長崎県	7	
19 石川県	6	1	43 熊本県	5	
20 福井県	6	4	44 大分県	6	
21 静岡県	13	2	45 宮崎県	3	
22 愛知県	22	3	46 鹿児島県	2	
23 三重県	10	1	47 沖縄県	8	
24 岐阜県	5		合計	458	93

【2022年12月データ】

- ・ 全国登録団体数 : 458団体
- ・ 新規登録団体数 : 4団体
- ・ 認定団体数の全国トップ3
 - 1) 東京都 (63団体)
 - 2) 埼玉県 (38団体)
 - 3) 神奈川県 (25団体)
- ・ 全国開催申請数 : 93開催
(11月の開催申請数と同数)

2023年がスタートし、はや1カ月が過ぎようとしています。遅くなりましたが、皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年の、男子ワールドカップでの熱戦が記憶に新しいところでありますが、今年は夏に女子ワールドカップが開催されます。ぜひ、皆さんで盛り上げていきましょう。

そして今年も女の子や女性がサッカーに触れ、楽しむことのできる貴重な機会のご提供を、よろしくお願いいたします！

地域別認定団体数

北海道	17カ所
東北	28カ所
関東	174カ所
北信越	35カ所
東海	50カ所
関西	52カ所
中国	33カ所
四国	19カ所
九州	50カ所
【合計】	458カ所

<http://www.jfa.jp/nadeshikohiroba/>

【事務局の受け付けが変更になっております】

2021年4月から、なでしこひろば事務局の受け付け・お問い合わせ方法をメールのみの対応とさせていただきます。

これまでの電話受け付けがなくなり4月1日以降はメールのみの対応とさせていただきます。各団体様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承のほど重ねてお願い申し上げます。

E-mail : info@nadeshikohiroba.jp

(今までのアドレスと変更ありません)

